

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級

— I

答案用紙

第1予想

平成 30 年度

第149回 日商簿記1級

**完全予想 模試＋必須過去問**

商業簿記・会计学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

第1予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

貸借対照表

20X8年3月31日現在

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金		買掛金	
売掛金		短期借入金	
貸倒引当金	△	未払金	
有価証券		未払費用	
商品		未払法人税等	
積送品		資産除去債務	
試用品		繰延税金負債	
前払費用		資本金	200,000
未収収益		資本準備金	11,000
設備		利益準備金	24,104
減価償却累計額	△	繰越利益剰余金	
車両		その他有価証券評価差額金	
減価償却累計額	△	( )	
投資有価証券			
先物取引差金			
破産更生債権等			
貸倒引当金	△		

損益計算書

自20X7年4月1日 至20X8年3月31日

(単位：千円)

I 売上高		
1 一般売上高	( )	
2 積送品売上高	( )	
3 試用品売上高	( )	( )
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	( )	
2 当期商品仕入高	( )	
合 計	( )	
3 期末商品棚卸高	( )	
差 引	( )	
4 棚卸減耗損	( )	
5 商品評価損	( )	( )
売上総利益		( )

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

第1予想 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コゴフトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②

会 計 学

第1問

1		2		3
4		5		

第2問

問1 個別財務諸表上の金額 (単位：円)

	退職給付費用	退職給付引当金
×1年度		
×2年度		
×3年度		

問2 連結財務諸表上の金額 (単位：円)

	退職給付費用	退職給付に係る負債	退職給付に係る調整額	退職給付に係る調整累計額
×1年度				
×2年度				
×3年度				

第3問

問1

S社貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
		資 本 金	
		利 益 剰 余 金	
		為替換算調整勘定	

連結貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
の れ ん		資 本 金	
		利 益 剰 余 金	
		為替換算調整勘定	
		非支配株主持分	

問2

S社貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
の れ ん		資 本 金	
		利 益 剰 余 金	2,909
		のれん評価勘定	1,000
		為替換算調整勘定	

連結貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
の れ ん		資 本 金	
		利 益 剰 余 金	
		為替換算調整勘定	
		非支配株主持分	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**1 級**

— II

**答案用紙**

**第1予想**

平成 30 年度  
第149回 日商簿記 1 級  
**完全予想 模試 + 必須過去問**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会計学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。





試験地(会議所名)	採点欄

## 1 級 ③

## 工業簿記

## 第1問

問1 原価差異については、借方、貸方のどちらか一方に記入すること。

仕掛品		(単位:円)
月初仕掛品 ( )	製品 ( )	
直接材料費 ( )	月末仕掛品 ( )	
直接労務費 ( )	原価差異 ( )	
製造間接費 12,570,600		
原価差異 ( )		
( )		( )

問2 ( ) 内には、有利差異ならばF、不利差異ならばUを記入すること。

## 1. 直接材料費差異

	消費価格差異	消費量差異	
		歩留差異	配合差異
材料A	円( )	円( )	円( )
材料B	円( )	円( )	円( )

## 2. 直接労務費差異

	賃率差異	作業時間差異	
		歩留差異	能率差異
	円( )	円( )	円( )

## 3. 製造間接費差異

	予算差異	能率差異		操業度差異
		歩留差異	純粋な能率差異	
変動費	円( )	円( )	円( )	—
固定費	円( )	円( )	円( )	円( )

問3 ( ) 内には、有利差異ならばF、不利差異ならばUを記入すること。

(1)  円/kg (2)

## 直接材料費差異

	消費量差異	
	歩留差異	配合差異
材料A	円( )	円( )
材料B	円( )	円( )

## 第2問

問1 (1)  円/個

(2)  円/個

問2	完成品標準原価	月末仕掛品標準原価	異常仕損費
	円	円	円

問3	月末仕掛品標準原価	異常仕損費
	円	円

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

第1予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コゴロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

**問 1**

- 自製部品 101          円
- 自製部品 102          円
- 自製部品 103          円
- 自製部品 104          円
- 製品 X                 円
- 製品 Y                 円
- 製品 Z                 円

**問 2**

- 部品組立部門          時間
- 製品組立部門          時間

**問 3**

- (1) 数量                 個
- 最低販売価格          円
- (2) 最低販売価格          円

**問 4**

- (1) 数量                 個
- (2) 製品Bの引き合いが (1)の数量だった場合、この引き合いに応じることは、  
 引き合いに応じないことと比べて、  円だけ  
 { 有利である。  
   不利である。  
 (いずれか適切な方を ○ で囲みなさい。)
- (3) ① 犠牲となる製品Zの売上収入          円
- ② 製品組立部門の加工費の減少額          円
- ③ 自製部品 102 の売上収入                 円
- ④ 差額利益                                  円  
 (差額損失となる場合には、金額に△を付すこと)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 級

— I

答案用紙

第2予想

平成 30 年度  
第149回 日商簿記1級  
**完全予想 模試＋必須過去問**

商業簿記・会计学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

第2予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コログトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

問1

連結貸借対照表

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産		流 動 負 債	
棚 卸 資 産		固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		資 本 金	
の れ ん		利 益 剰 余 金	
そ の 他 有 価 証 券		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	
		非 支 配 株 主 持 分	
合 計		合 計	

連結包括利益計算書

(単位:千円)

親会社株主に帰属する当期純利益	(                    )
非支配株主に帰属する当期純利益	(                    )
当期純利益	(                    )
その他の包括利益	(                    )
包括利益	(                    )

問2

T 社 個 別 貸 借 対 照 表

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産		流 動 負 債	
棚 卸 資 産		固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		資 本 金	
		利 益 剰 余 金	
合 計		合 計	

問3

連結貸借対照表

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産		流 動 負 債	
棚 卸 資 産		固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		資 本 金	
の れ ん		資 本 剰 余 金	
そ の 他 有 価 証 券		利 益 剰 余 金	
		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	
		非 支 配 株 主 持 分	
合 計		合 計	



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

第2予想 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コロナトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②

会 計 学

第1問

1	2	3	4	5

第2問

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他	利益準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	自己株式	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益		
当期首残高	10,000	400	250	620	200	1,400	△500	140	40	200	12,750
当期変動額											
新株の発行 (新株予約権の行使)											
剰余金の配当											
別途積立金の積立											
当期純利益											
自己株式の取得											
自己株式の処分											
株主資本以外の項目の 当期変動額											
当期変動額合計											
当期末残高								170	30		

第3問

設問1

	A社株主	B社株主
P社に対する議決権比率	%	%

設問2

取得会社名	社
-------	---

設問3

A社株式の取得原価	千円
B社株式の取得原価	千円

設問4

P社連結財務諸表における金額	
資本金	千円
資本剰余金	千円
のれん	千円

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**1 級** — **II****第2予想**  
**答案用紙**

平成 30 年度  
第149回 日商簿記1級  
**完全予想 模試＋必須過去問**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会計学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

©Net-School

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
第2予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

第1問

①	②	③	④	⑤

第2問

問1

仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品 ( )	製品 ( )
直接材料費 ( )	月末仕掛品 ( )
加工費 ( )	
<u>( )</u>	<u>( )</u>

問2

製品A	製品B
円	円

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
第2予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

問 1

	円
--	---

問 2

	円
--	---

問 3

	円
--	---

問 4

	円
--	---

問 5

	年
--	---

問 6

	円
--	---

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**1 級**

— I

**答案用紙**

**第3予想**

平成 30 年度

第149回 日商簿記 1 級

**完全予想 模試＋必須過去問**

商業簿記・会計学

(午前9時開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

©Net-School

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
第3予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コゴロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

×6年3月31日現在の貸借対照表価額

現金預金	繰越利益剰余金
千円	千円

損益計算書

×5年4月1日～×6年3月31日

(単位：千円)

I 売上高		( )	
II 売上原価			
1 期首商品棚卸高	( )		
2 当期商品仕入高	( )		
合計	( )		
3 期末商品棚卸高	( )		
差引	( )		
4 棚卸減耗損	( )		
5 商品評価損	( )	( )	
売上総利益		( )	
III 販売費及び一般管理費			
1 販売費	( )		
2 一般管理費	( )		
3 ( )	( )		
4 退職給付費用	( )		
5 減価償却費	( )		
6 ソフトウェア償却	( )	( )	
営業利益		( )	
IV 営業外収益			
1 受取利息	( )		
2 有価証券評価益	( )		
3 ( )	( )	( )	
V 営業外費用			
1 支払利息	( )		
2 支払手数料	( )		
3 ( )	( )	( )	
経常利益		( )	
VI 特別損失			
1 関係会社株式評価損		( )	
税引前当期純利益		( )	
法人税、住民税及び事業税	( )		
法人税等調整額	( )	( )	
当期純利益			10,150

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
第3予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②  
会 計 学

第1問

1		2		3	
4		5			

第2問  
問1

決算整理後残高試算表  
×8年3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金		社債	
社債利息		社債償還益	

問2

(単位：円)

	前期期首残高	前期仕入高	前期払出高	前期期末残高
先入先出法の場合				
総平均法の場合				

当期首の仕訳

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

第3問  
問1

連結貸借対照表  
×2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
土 地		資 本 金	
の れ ん		資 本 剰 余 金	
		利 益 剰 余 金	
		非 支 配 株 主 持 分	

問2

合併後貸借対照表  
×2年4月1日

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
土 地		資 本 金	
の れ ん		資 本 剰 余 金	
		利 益 剰 余 金	

1 級

— II

答案用紙

第3予想

平成 30 年度

第149回 日商簿記 1 級

**完全予想 模試＋必須過去問**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会計学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

## 受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。





受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
第3予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コロボツジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

問1

素 材 x	円	( 借方 、 貸方 )
半製品 x - 2	円	( 借方 、 貸方 )
半製品 x - 3	円	( 借方 、 貸方 )

問2

第1加工工程	円	( 借方 、 貸方 )
第2加工工程	円	( 借方 、 貸方 )
仕上工程	円	( 借方 、 貸方 )

問3

仕 掛 品 (単位:円)

月初仕掛品 ( )	製 品 ( )
素 材 ( )	月末仕掛品 ( )
直接労務費 ( )	外注先負担分 ( )
直接経費 ( )	原価差異 ( )
製造間接費 ( )	
( )	( )

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
第3予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④  
**原 価 計 算**

問 1

問 2

製品 X の生産量 =  個

製品 Y の生産量 =  個

問 3

(1) 製品 X の生産量 =  個

製品 Y の生産量 =  個

(2) 低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、 円だけ

- { 有利である。
- { 不利である。

(いずれか適切な方を ○ で囲み、不要な文字を消しなさい。)

問 4

(1) 臨時の注文 200 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

- { 有利である。
- { 不利である。

(いずれか適切な方を ○ で囲み、不要な文字を消しなさい。)

(2) 臨時の注文 300 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

- { 有利である。
- { 不利である。

(いずれか適切な方を ○ で囲み、不要な文字を消しなさい。)

1 級

— I

答案用紙

ウラ予想

平成 30 年度  
第149回 日商簿記 1 級  
**完全予想 模試 + 必須過去問**

商業簿記・会計学

(午前 9 時開始 制限時間 1 時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

## 受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

ウラ予想 答案用紙

生年月日

氏名

×

(ココヲトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

決算整理後残高試算表

平成X5年 3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金		支払手形	13,000
売掛金		買掛金	
未収入金		未払金	
繰越商品		短期借入金	
前払費用		貸倒引当金	
建物		未払費用	
備品		退職給付引当金	
土地	159,100	建物減価償却累計額	
投資有価証券		備品減価償却累計額	
長期貸付金		社債	
長期前払費用		長期借入金	
為替予約		資本金	
仕入		資本準備金	
棚卸減耗損		利益準備金	3,100
商品評価損		任意積立金	1,200
販売費		繰越利益剰余金	
一般管理費		新株予約権	
退職給付費用		( )	
貸倒引当金繰入		売上	
貸倒損失		受取利息	
減価償却費			
( )			
社債利息			
支払利息			
リース解約損			
リース資産除却損			

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問  
ウラ予想 答案用紙

生年月日

氏名

×

(コゴトジル)

×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ②

会 計 学

第1問

イ	ロ	ハ	ニ	ホ

第2問

個別ベースのキャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローを直接法で作成する場合

P社の営業収入の金額  万円

S社の商品の仕入支出の金額  万円

P社の営業活動による  
キャッシュ・フローの金額  万円

連結キャッシュ・フロー計算書

間接法による場合の

税金等調整前当期純利益の金額  万円

直接法で作成する場合の

商品の仕入支出の金額  万円

営業活動による

キャッシュ・フローの金額  万円

第3問

問1

資産グループA	資産グループB	資産グループC

問2

(単位：千円)

資産グループA	資産グループB	資産グループC

問3

(1)

(単位：千円)

	各資産の減損損失	各資産の帳簿価額
資産グループA		
資産グループB		
資産グループC		
共用資産		

(2)

(単位：千円)

	各資産の減損損失	各資産の帳簿価額
資産グループA		
資産グループB		
資産グループC		
共用資産		

**1 級**

— II

**答案用紙****ウラ予想**

平成 30 年度

第149回 日商簿記 1 級

**完全予想 模試 + 必須過去問**

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会計学終了、休憩後開始 制限時間 1時間30分)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

## 受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

ウラ予想 答案用紙

生年月日

氏名

× (ココロトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

予定損益計算書(単位：千円)

	7月	8月
売上高	( )	( )
売上原価	( )	( )
売上総利益	( )	( )
販売費・一般管理費	( )	( )
営業利益	( )	( )
支払利息	( )	( )
経常利益	( )	( )
固定資産売却損益	( )	( )
税引前当期純利益	( )	( )
法人税等	( )	( )
当期純利益	( )	( )

(注) 固定資産売却損益は、売却損の場合、金額の前に△をつけること。

予定貸借対照表(単位：千円)

	7月	8月
流動資産		
現金	( )	( )
売掛金	( )	( )
製品	( )	( )
原材料	( )	( )
小計	( )	( )
固定資産		
土地	( )	( )
建物・設備	( )	( )
減価償却累計額	( )	( )
小計	( )	( )
合計	( )	( )
流動負債		
買掛金	( )	( )
借入金	( )	( )
未払法人税等	( )	( )
小計	( )	( )
固定負債	( )	( )
株主資本		
資本金	( )	( )
資本剰余金	( )	( )
利益剰余金	( )	( )
小計	( )	( )
合計	( )	( )

受験  
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第149回完全予想 模試+必須過去問

ウラ予想 答案用紙

生年月日 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

× (コロボトジル) ×

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ④

原 価 計 算

問1 予算実績比較損益分析表(単位：千円)

	予算	実績	差異
売上高	( )	( )	( )
標準変動売上原価	( )	( )	( )
標準変動販売費	( )	( )	( )
標準貢献利益	( )	( )	( )
標準変動費差異	—	( )	( )
実際貢献利益	( )	( )	( )
固定費			
製造間接費	( )	( )	( )
販売費	( )	( )	( )
一般管理費	( )	( )	( )
営業利益	( )	( )	( )

問2 標準変動費差異内訳表(単位：千円)

	製品X	製品Y	合計
直接材料費差異			
価格差異	( )	( )	( )
数量差異	( )	( )	( )
直接労務費差異			
賃率差異	( )	( )	( )
時間差異	( )	( )	( )
変動製造間接費差異			
予算差異	—	—	( )
能率差異	—	—	( )
変動販売費差異	( )	( )	( )
合計			( )

問3 営業利益差異分析表(単位：千円)

予算営業利益		( )
貢献利益差異		
(1) 販売価格差異	製品X ( )	
	製品Y ( )	( )
(2) 販売数量差異	製品X ( )	
	製品Y ( )	( )
(3) 標準変動費差異		( )
固定費差異		( )
実際営業利益		( )

問4 部門別差異分析(単位：千円)

販売部門	<input type="text"/>
製造部門	<input type="text"/>
管理部門	<input type="text"/>

問5 販売数量差異詳細分析表(単位：千円)

	製品X	製品Y	合計
セールス・ミックス差異	( )	( )	( )
総販売数量差異	( )	( )	( )
合計	( )	( )	( )

問6 市場占有率差異と市場総需要量差異(単位：千円)

市場占有率差異	<input type="text"/>
市場総需要量差異	<input type="text"/>



# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

# 計 算 用 紙

半分に切ってお使いください